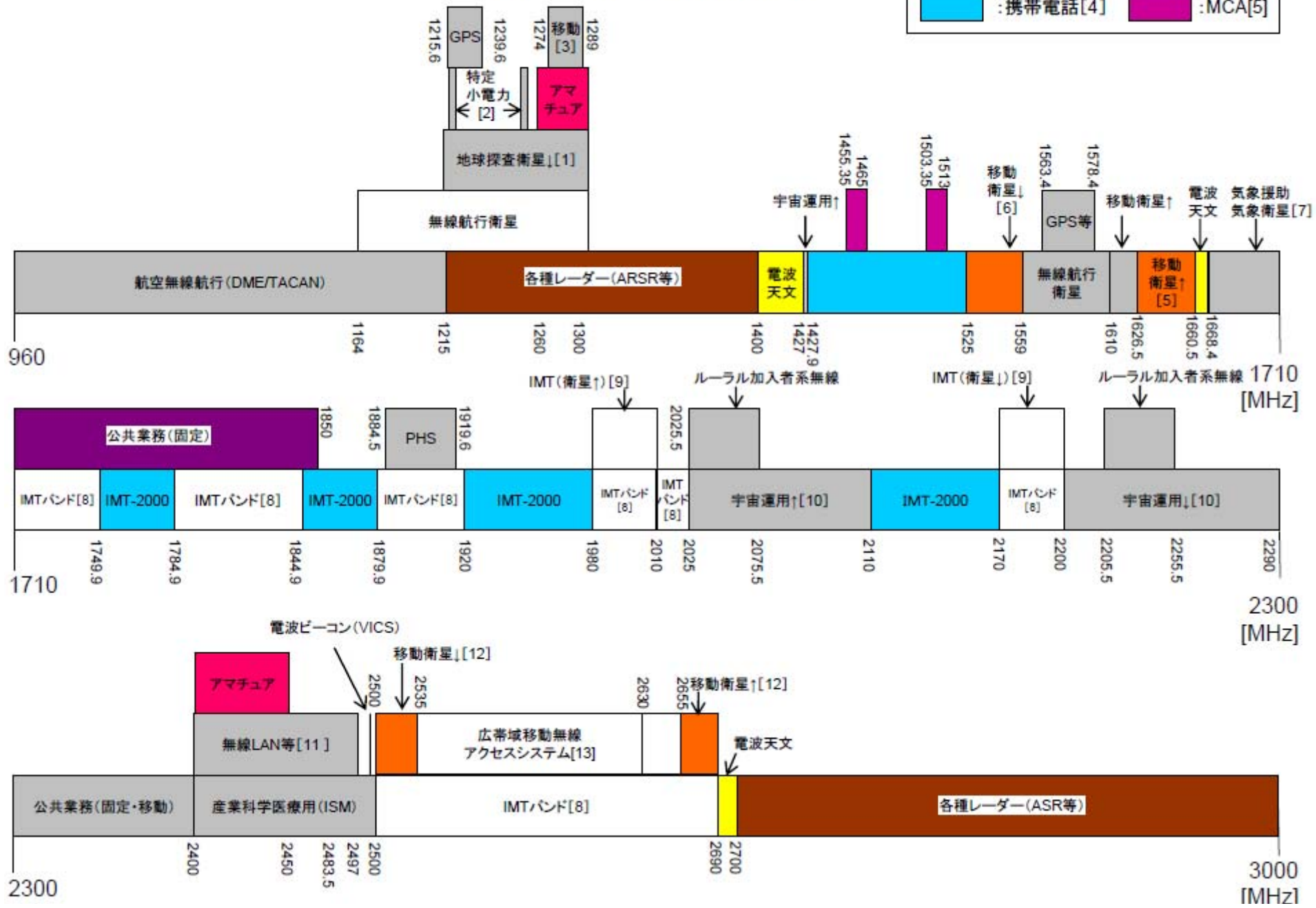


960MHz～3000MHz

: 携帯電話[4]
 : MCA[5]



電波の使用状況に関する補足説明

【960-3000MHz】

番号	周波数帯(MHz)	主な用途等
[1]	1215-1300	陸域観測衛星等で利用
[2]	1216-1217、1252-1253	データ伝送装置等の免許を要しない無線局(特定小電力無線局)
[3]	1274-1285	画像伝送用
[4]	1427.9-1525	携帯電話 北海道、関東、東海、近畿、中国及び九州の地域においては、IMT-2000による1455.35-1462.9MHz及び1503.35-1510.9MHzの使用は、2014年4月1日から
[5]	1455.35-1465、1503.35-1513	MCAIによる使用は、2014年3月31日まで(北海道、関東、東海、近畿、中国及び九州の地域に限る。)
[6]	1525-1559、1626.5-1660.5	インマルサット衛星等による移動体衛星通信サービス
[7]	1668.4-1700	気象衛星のデータ伝送、気象ラジオゾンデ
[8]	1710-2025、2110-2200、2500-2690	IMTの地上系に特定された周波数帯 1749.9-1784.9MHz/1844.9-1879.9MHz、1920-1980MHz/2110-2170MHzでIMT-2000(二周波方式)として利用 2010-2025MHzで一周波方式として利用
[9]	1980-2010、2170-2200	IMTの衛星系に特定された周波数帯
[10]	2025-2110、2200-2300	衛星及びロケットの追跡管制

番号	周波数帯(MHz)	主な用途等
[11]	2400-2483.5、2471-2497	無線LAN等小電力データ通信システム、移動体識別(2400-2483.5MHz)
[12]	2500-2535、2655-2690	移動体衛星通信サービス
[13]	2535-2630	2545-2575MHz及び2595-2625MHzは全国展開する移動通信で使用 2582-2592MHzは各地域における移動通信又は固定的な通信で使用